

DISPERBYK-2152

無溶剤型エポキシ系および他の反応硬化型用のエミッションフリー、超分岐型の湿潤分散剤で、ドイツAgBBに準拠しています。

製品データ

組成

変性ポリエステル-ポリエーテル

一般性状

本データシートに記載された数値は代表値であり、品質規格ではございません。

密度 (20 °C): 1.08 g/cm³
不揮発分 (10 min, 150 °C): 100 %

貯蔵および輸送

未開封の元の容器での製品の品質保持期間：36 ヶ月
50°C以下の温度で保管および輸送すること。

適用分野

塗料

特長

DISPERBYK-2152は、超分岐テクノロジーに基づき、特に無溶剤型エポキシ塗料だけでなく、2液ウレタンおよび酸触媒系塗料などの他の反応性樹脂系塗料用に開発されました。顔料あるいはフィラーとの分散時にポリエステル側鎖が圧縮されて、アミノ基と顔料あるいはフィラー表面との接着力が向上します。そして、顔料親和性基が顔料あるいはフィラー表面に吸着する一方で、ポリエステル側鎖はアミノ基とエポキシ樹脂との反応を防止します。その結果、粘度が大幅に低減し、樹脂との反応が生じないので、長期的な貯蔵安定性が得られます。DISPERBYK-2152は顔料への濡れ性および脱凝集性に優れています。本添加剤は幅広い相溶性を示し、黄変性、塗料の金属への接着性および防食性に対して悪影響を及ぼしません。

DISPERBYK-2152 は、ドイツ建築製品健康評価委員会 (AgBB) の基準を満たす必要がある配合での使用に適しています。

推奨用途

一般工業用塗料	<input checked="" type="checkbox"/>
木工および家具用塗料	<input checked="" type="checkbox"/>
船舶および防食塗料	<input checked="" type="checkbox"/>
床用塗料	<input checked="" type="checkbox"/>
自動車用OEM塗料	<input type="checkbox"/>
自動車補修用塗料	<input type="checkbox"/>

最適 適

推奨添加量

顔料に対して添加剤として%：

無機顔料:	5-10 %
酸価チタン:	1-3 %
有機顔料:	20-45 %
カーボンブラック:	20-80 %

上述の添加量は初期値として適用して下さい。最適添加量は実際に試験を行い、決定して下さい。

添加方法

最適性能を得るには、本添加剤をミルベースに添加したのちに顔料を添加して下さい。その結果、十分な効果が得られます。ミルベースの樹脂および溶剤を予備混合してから、本添加剤を攪拌しながら、ゆっくりと添加して下さい。本添加剤が均一に分散されてから、顔料を添加して下さい。

熱硬化性プラスチック

特長

DISPERBYK-2152は、幅広い無機フィラー、特に充填熱硬化性樹脂用途における二酸化ケイ素の濡れ性と分散性を向上させます。この添加剤は配合物の粘度を低下させることで、流動性を最適化するか、あるいは同じ流動性を維持しながら系内のフィラー含有率を高めるのに効果的です。顔料ペーストにおいては、顔料の濡れ性向上と安定化に寄与します。DISPERBYK-2152の使用により、製造時にフィラーを迅速・容易・均一に混合でき、安定した品質の確保に役立ちます。

推奨用途

DISPERBYK-2152は、不飽和ポリエステル樹脂、ビニルエステル樹脂、ポリウレタン樹脂、エポキシ樹脂、およびアクリレートシロップからなる系に推奨されます。粘度低下が過度の場合、フィラーの沈降が著しく進む可能性があるため、レオロジー添加剤との併用が推奨されます。

推奨添加量

顔料、フィラーに対して添加剤として%：

無機顔料:	5-10 %
酸価チタン:	1-3 %
有機顔料:	20-45 %
カーボンブラック:	20-80 %
Fillers:	0,3-1,5 %

上述の添加量は初期値として適用して下さい。最適添加量は実際に試験を行い、決定して下さい。

添加方法

最適性能を得るには、本添加剤を添加したあとに固形分を添加して下さい。

接着剤およびシーラント

特長

本添加剤により、炭酸カルシウムおよびアルミニウムトリ水酸化物(ATH)などの鉱物フィラーの湿潤分散性が向上します。また、アルミニウム粉および酸化アルミニウムにも適しています。粘度が低下するので、フィラーの充填量を高めることができます。

推奨用途

この添加剤は、特にエポキシ樹脂、シラン変性ポリマー、およびポリウレタン樹脂をベースとする接着剤に最適です。

推奨添加量

フィラーに対して添加剤として、0.5-1.5 %

上述の添加量は初期値として適用して下さい。最適添加量は実際に試験を行い、決定して下さい。

添加方法

最適性能を得るには、本添加剤を添加したあとに固形分を添加して下さい。

建設材料

特長

DISPERBYK-2152は、フライアッシュや炭酸カルシウムなどの鉱物系フィラーの濡れ性と分散性を向上させます。この添加剤は、低粘度の高充填系に特に適しています。

推奨用途

本添加剤は、エポキシ樹脂およびポリウレタン樹脂をベースとする湿気硬化型および非湿気硬化型の注入モルタルならびに流動性グラウトモルタルに特にお勧めします。

推奨添加量

フィラーに対して添加剤として、0.5-1.5 %

上述の添加量は初期値として適用して下さい。最適添加量は実際に試験を行い、決定して下さい。

添加方法

最適性能を得るには、本添加剤を添加したあとに固形分を添加して下さい。

皮革仕上げとコーティング生地

特長

DISPERBYK-2152は、超分岐テクノロジーに基づき、特に無溶剤型エポキシ塗料だけでなく、2液ウレタンおよび酸触媒系塗料などの他の反応性樹脂系塗料用に開発されました。顔料あるいはフィラーとの分散時にポリエステル側鎖が圧縮されて、アミノ基と顔料あるいはフィラー表面との接着力が向上します。顔料親和性基が顔料あるいはフィラー表面に吸着する一方で、ポリエステル側鎖はアミノ基とエポキシ樹脂との反応を防止します。その結果、粘度が大幅に低減し、樹脂との反応が生じないので、長期的な貯蔵安定性が得られます。DISPERBYK-2152は、顔料への濡れ性および脱凝集性に優れています。本添加剤は幅広い相溶性を示し、黄変性、塗料の金属への接着性および防食性に対して悪影響を及ぼしません。

DISPERBYK-2152は、ドイツ建築製品健康評価委員会 (AgBB) の基準を満たす必要がある配合での使用に適しています。

推奨添加量

顔料に対して添加剤として、%:

無機顔料:	5-10 %
酸価チタン:	1-3 %
有機顔料:	20-45 %
カーボンブラック:	20-80 %

上述の添加量は初期値として適用して下さい。最適添加量は実際に試験を行い、決定して下さい。

**BYK-Chemie GmbH**Abelstraße 45
46483 Wesel
Germany
Tel +49 281 670-0
info@byk.com
www.byk.com

ANTI-TERRA®, AQUACER®, AQUAMAT®, AQUATIX®, BENTOLITE®, BYK®, BYK-AQUAGEL®, BYK-DYNWET®, BYK-MAX®, BYK-SILCLEAN®, BYKANOL®, BYKCARE®, BYKETOL®, BYKJET®, BYKONITE®, BYKOPLAST®, BYKUMEN®, CARBOBYK®, CERACOL®, CERAFAC®, CERAFLOUR®, CERAMAT®, CERATIX®, CLAYTONE®, CLOISITE®, DISPERBYK®, DISPERPLAST®, FULACOLOR®, FULCAT®, GARAMITE®, GELWHITE®, HORDAMER®, LACTIMON®, LAPONITE®, NANOBYPK®, OPTIBENT®, OPTIGEL®, PURABYPK®, RECYCLOBYPK®, RHEOBYPK®, SCONA®, SILBYPK®, TIXOGEL® および VISCOBYPK® は、BYK グループの登録商標です。

ここに記載されている情報は、当社の現在の知見と経験に基づくものです。ここに記載されている製品およびデータまたは情報に関して、明示的または黙示的かを問わず、いかなる種類の保証または確約も行われません。これには、製品性または特定目的への適合性の保証も含まれません。また、第三者の知的財産権を侵害することなく、これらの製品、データまたは情報を使用することについても、一切の保証はありません。製品の適合性、使用、または適用に関する情報は拘束力を持たず、製品の特性、使用、または適用に関する責任を負うものではありません。契約条件、特に、合意された製品仕様は常に優先されます。当社製品を使用する前に、お客様の目的に対する適合性を判断するために予備試験で製品をテストすることをお勧めします。当社は、ここに記載されている情報に対して予告なく変更を加えたり、更新したりする権利を有します。